

拠出金名：東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金

国際機関等名	国連環境計画アジア太平洋地域資源センター（略称）UNEP. RRC. AP					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	環境省地球環境局環境保全対策課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成14年度	165,393	1,356		1\$ = 122円	(2002年) 100	0
平成13年度					(2001年)	
平成12年度					(2000年)	
拠出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2002年のもの	
1位	日本		100			
2位						
3位						
4位						
5位						
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
東アジア地域においては、経済発展に伴い酸性雨問題が懸念されている中、これらの地域の酸性雨の実態を共通の手法によって把握し、国際協力に基づく今後の対策に結びつけていくことを目的とした、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)の活動が、2001年1月から本格稼働しているところであり、我が国は、本ネットワークの立ち上げにおいて中心的な役割を担ってきたことから、本ネットワークの活動に対して財政的にも技術的にも多大な支援を行っている。 なお、本拠出金は、平成14年からEANETの事務局として機能を開始しているUNEP.RRC.APIに対し、EANET事務局及びネットワークセンターの運営経費を拠出するものである。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 今後の活動の財政基盤の強化に向け、また、参加各国のオーナーシップの重要性に鑑み、「すべての参加国による資金分担」のルール作りに向けた議論が開始されている。この議論については、2003年秋の政府間会合での合意を目指して重点的に検討を行うこととされている。 (参考) EANET参加国 カンボジア、中国、インドネシア、日本、ラオス、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、ロシア、タイ及びベトナムの計12カ国						
邦人職員数 うち幹部以上	0 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に占める率	25人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2000年～2002年)。